## 🔆 Agilent Technologies

技術資料番号: CET-251-2



- (注意) この手順書はシステム・マネージャ向けに書いてあります。一通りお読みいただき、内容を 十分ご理解された後、作業を始めてください。
   また、このマニュアルは、Advanced Design System 2008 (Rev.500)を元に書かれています。
  - ◇ この手順書には、Advanced Design System (ADS) 2008を Windows PC にインストールする手順が書いてあります。

新製品、不具合情報はホームページでご覧いただけます。

http://www.agilent.com/find/eesof-support-japan

2008年 2月 1日 作成 アジレント・テクノロジー株式会社 電子計測本部 EDAビジネス統括部 EDA テクニカルサポート発行

## EDAテクニカルサポートの電話番号・FAX 番号・ E-Mail アドレスを再度ご確認ください



なお、EDAテクニカルサポートにご質問をいただく場合は、必ずお客さまのシステムハンドル番号を受付 にお伝えください。また、EDAテクニカルサポートでは、OS (Solaris, Linux, Windows) に関するご質問は 承っておりませんので予めご了承ください。

EDAテクニカルサポートへご質問の FAX を送信する場合は、本手順書の **3-2節** 「EDAテクニカ ルサポート サポート依頼 FAX シート」をご利用いただくと便利です。

#### 次の問題確認項目を参考にしていただくとより早いご回答が期待できます

- (1) 何をしようとしていましたか。
- (2) どうなるはずだ、またはどうなって欲しいと考えていますか。
- (3) 何が起きていますか。
- (4) どんなエラー・メッセージ、エラー番号が出ていますか。
   そのエラー・メッセージはOS側のものですか、それともソフトウェア側のものですか。
   そのエラー・メッセージはどこに表示されていますか。
   データベースで検索するため、エラー・メッセージは正確にお知らせください。
- (5) この問題はいつから発生していますか。
- (6) この問題はときどき発生しますか、または必ず発生しますか。
- (7) ときどき発生する場合は、どんな時に発生しますか。
- (8) 今までは正常に動作していましたか、または今回が初めてのご使用ですか。
- (9) 問題発生前に、何か変更なさいましたか。(ハードウェア、ソフトウェア、設定など)
- (10) すでに何かの問題解決の手を打たれましたか。その結果はどうでしたか。

Version	作成/改訂日付	変更内容
1.0	2008/02/01	初版作成

Mentor Graphicsは、Mentor Graphics Corporationの商標です。

UNIX®は、Open Groupの登録商標です。

Java<sup>TM</sup>は、Sun Microsystems Inc.の商標です。

SystemC®は、Open SystemC Initiative, Inc.の登録商標です。

MATLAB®は、The Math Works, Inc.の登録商標です。

その他、会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。

Microsoft<sup>®</sup>、Windows<sup>®</sup>、MS Windows<sup>®</sup>、Windows NT<sup>®</sup>、MS-DOS<sup>®</sup>は、Microsoft Corporation の登録商標です。

Pentium®は、Intel Corporationの登録商標です。

PostScript<sup>®</sup>、Acrobat<sup>®</sup>は、Adobe Systems Incorporatedの商標です。

HiSIM2のソース・コード、全ての著作権、企業秘密、および、他の知的所有権は全て、広島大学と STARC が所有します。

# 目次

4章 インストールの実施	1
4 – 1 本書の構成	
4-2 概要とアップデートの注意	2
4-3 インストール方法の選択	
4-4 インストールの実行	7
4-5 ネットワーク・インストール	
4-6 FLEXid ドライバのインストール	
4-7 ライセンスの確認	
4-8 〔参考〕後から一部のファイル・セットをインストールする方法	
4-9 〔参考〕アンインストールの方法	
4-10 〔参考〕ファイル・サーバからのインストール	
4-11 〔参考〕サイレント・インストール	
5章 動作確認	
5-1 ADS 2008 を初めて起動する際の注意事項	
5-2 アプリケーションの起動	
5-3 サンプル・ファイルによる動作確認	
5-4 ADS 2008 が起動しない時	

### 4章 インストールの実施

#### <u>4-1 本書の構成</u>

セットアップの流れと本書の構成の関係を下図に表します。Advanced Design System をインストー ルして、使用できるようになるまでには、基本的に以下の作業が必要になります。



Part1. ~ Part4.は、それぞれ独立した文書となっています。 必要に応じて、それぞれご参照ください。

#### <u>4-2 概要とアップデートの注意</u>

この章では、ADS 2008 のインストール方法について解説します。 一通りお読みになり、内容をよくご理解の上、手順通りに実行してください。

インストールはインストーラを用いて行われます。

インストール用のファイルは、Agilent EEsof ナレッジセンタからのダウンロード、および、DVD-ROM メディアによって供給されます。(DVD-ROMメディアの配布開始は 2008年 2月下旬以降を予定)

ダウンロードの方法については、

Part1. インストール前の確認事項 2-1節「インストール・ファイルの確認」 をご参照ください。

インストール前に、ハード・ディスクの空き領域をもう一度ご確認ください。

ダウンロードしたアーカイブ・ファイルからのインストールの場合は、アーカイブ・ファイル ads330r500\_win32.zip と展開後のファイル・セットで**それぞれ** 1.3GB、インストール後の ADS 2008 プログラムで最大 5GBのディスク領域を使用します。

DVD-ROMからのインストールの場合は、ADS 2008プログラムで最大 5GBのディスク領域を使用します。

また、古いバージョンの Advanced Design System をアンインストール(削除)したい場合は、各 バージョンの Advanced Design System プログラム・グループの中にショートカット [Uninstall ADS] がありますので、これを選択すると削除を行うことができます。

例) ADS 2006A の場合は、

[スタート]>[すべてのプログラム]>[Advanced Design System 2006A]>[Uninstall ADS] (Windows XP) を選択することになります。

アンインストールの手順につきましては、 4-9節「〔参考〕アンインストールの方法」 をご参照ください。 \*重要\* ADSのプロジェクト (Schematic、Layout 等を含む) は、基本的に上位互換です。 ジョンで作成したプロジェクトは、そのまま ADS 2008 でご利用いただくことができます。 ただし、ADS 2008 では、ADS 2006、ADS 2005A、ADS 2004A、および、ADS 2003C に対し て、プロジェクトの下位互換性を持っており、これらのバージョンでは、ADS 2008 で作成・編 集したプロジェクトを開くことができます。

ただし、ADS 2008では 2GB以上のサイズを持つデータセットに対応した為、ADS 2008で生成し たデータセット・ファイルを ADS 2006 以前で参照することはできません。

ADS 2008 でシミュレーションを行った後、そのプロジェクトを ADS 2006以前で使用する場合 は、事前に ADS 2008 付属のユーティリティ dsconvert でデータセット・ファイルのフォーマ ット変換作業が必要です。

ADS 2003A 以前のバージョンでは、一度 ADS 2008 で編集を行ったプロジェクトを開くことが できません。このため、アップデートを行う前に使用しているプロジェクトのバックアップを取 っておくことを強くお勧めいたします。

また、旧バージョンの ADSも、ハード・ディスク容量に余裕がある場合はすぐに削除せず、ADS 2008 への移行に問題が無いことをご確認いただいた上で、アンインストールしてください。

また、ADS 2008 を起動するにはインストール後、**ライセンスの設定が必要**です。

ADS 2008 を動作させるには、新しいライセンス・コードワードが必要になります。ADS 2006 以前 のライセンスではご利用いただくことはできません。 必ず、事前に ADS 2008 用ライセンス・コードワードの発行申請</u>を行い、ライセンス・ファイルを入 手してください。

ライセンスの仕様、設定方法については、 Part3.ライセンスの設定) 6章「ライセンスの設定」 をご参照ください。

また、ADS 2008 用ライセンス・コードワードの発行手配の方法に関しては、 **Part1.インストール前の確認事項** 3-1節「コードワード発行依頼の方法」 をご参照ください。

#### <u>4-3 インストール方法の選択</u>

Windows版 ADS 2008 のインストール方法には、下記の四種類の方法があります。

- □ ローカル・インストール
- □ ネットワーク・インストール (サーバークライアント・インストール)
- ファイル・サーバからのインストール \*
- □ サイレント・インストール **\*** 
  - \* これらのインストール方法は、**正式サポート対象外**となります。

ハード・ディスクの空き容量に余裕が無い場合を除き、通常は**ローカル・インストール**を行ってくださ い。本章では、ローカル・インストールの手順を中心に説明いたします。

■ ローカル・インストール (図A)

インストール用アーカイブ・ファイル ads330r500\_win32.zip、または、DVD-ROM から使用するコンピュータのハード・ディスクに、全てのファイル・セットをコピーします。



ローカル・インストール

■ ネットワーク・インストール (サーバークライアント・インストール)

あるコンピュータにローカル・インストールされた ADSのリソースを用いて、ネットワークで 接続されたクライアント・マシンにインストールを行う方法です。

「ネットワーク・インストール」は二つの方法があり、ご使用になっているコンピュータの使用 環境によって選択することが出来ます。

二つの方法とは、部分的ネットワーク・インストールと、完全ネットワーク・インストールです。 以下の表で違いを示します。次ページに詳しい特徴を述べます。

インストール方法		サーバ	クライアン	特徴
			<b>ト</b>	
ネットワーク・	部分的	約3.6GB	約1.06GB	実行速度は速い。クライアント のディスク容量の節約が出来 る
	完全	約3.6GB	約10MB	実行速度が遅い。クライアント のディスク使用容量が最小

\*注意\* ネットワーク・インストールの場合、サーバ・マシンが動いており、かつサーバ・ マシンの ADS 2008 のインストールされているハード・ディスクが、クライアント・マシ ンから共有接続できなければ、クライアント・マシンで ADS を起動することはできませ ん。 また、共有ドライブを一度切断した場合は、次の時も同じドライブ名に同じ共有を復元す る必要があります。

\*注意\* ネットワーク・インストールの場合、共有するフォルダは ADS のインストール・フ ォルダの親(ひとつ上の階層)フォルダで共有することを推奨しています。ADS のインスト ール・フォルダを共有した場合には、ADSのデータ・ディスプレイ・ウィンドウの表示で 問題が起こる可能性があります。

\*注意\* ネットワーク・インストールを行う時は、サーバ・マシンのインストールでファイ ル・セットを選択する時に "LAN Client Files" を必ずインストールしておいて下さい。

\*注意\* ネットワーク・サーバ/クライアント・システムは、ライセンス・サーバ/クライアント・システムとは関係ありません。

□ 部分的ネットワーク・インストール(推奨)

マニュアルとライブラリのみサーバ・マシンのものを利用し、プログラム・ファイルは全てのクライアント・マシンにインストールする方法です。

プログラム・ファイル等の頻繁に使用するファイル群は、ローカル・ディスクにインストールされています。



完全ネットワーク・インストール

全てのファイル・セットをサーバ・マシン一台から利用する方法です。

この場合、ADS 2008 の処理速度が非常に遅くなってしまうので、ディスクの容量不足で インストールができない時以外は、お勧めできません。



ネットワーク・インストールの実際の作業手順については、 **4-6節「ネットワーク・インストール」** ご覧ください。

■ ファイル・サーバからのインストール

ADS 2008 のインストール用ファイルの内容を、全て大容量のハード・ディスクを有するサーバ・マシンにコピーして、そこからクライアント・マシンがインストーラを起動する方法です。

「ファイル・サーバからのインストール」の手順は、サーバ・マシンとの共有ドライブの設定を行った後は、「ローカル・インストール」と同等です。

手順の詳細に関しては、

**4-10節「〔参考〕ファイル・サーバからのインストール」** をご参照ください。

■ サイレント・インストール

サイレント・インストールは、非対話形式のインストールを行います。通常、「ファイル・サー バからのインストール」と組み合わせて使用します。

「ローカル・インストール」でユーザが入力する情報を、Microsoft's Windows Installer (MSI) の機能を用いて、予め作成しておいたレスポンス・ファイル (InstallShield silent response file) から読み込ませることにより、自動的にインストール作業を進行させることができます。

手順の詳細に関しては、

**4-11節「〔参考〕サイレント・インストール」** をご参照ください。

#### 4-4 インストールの実行

以下の作業は、管理者権限を持つユーザ・アカウントにて実行してください。

Windows Vistaの場合、「ユーザアカウント制御(UAC)」機能により、管理者権限を持つアカウント でログインしている場合でも、各種プログラムの実行時に許可を求めるダイアログ・ボックスが表示さ れます。 ADS 2008のインストール作業中にも数回表示される場合が有りますが、それぞれ [続行(C)] ボタン

ADS 2008のインストール作業中にも数回表示される場合か有りますか、それそれ【続行(U)」ボタン をクリックして、作業を継続してください。

(1) インストーラでの操作

インストールを始める前に、インストーラと、ダイアログ・ボックス中で行える共通の操作を 以下に示します。

< Back	Next >	Cancel
	Summinumumumumumum	

前の画面に戻る 次の画面に進む インストールの中止

■ インストールを中止するには

ダイアログ・ボックス上の [Cancel] ボタンをクリックしてください。[Exit Setup]ダイ アログ・ボックスが現れますので、[はい] ボタンをクリックすると、インストールは中止 されます。

Exit Setup	
1	Setup is not complete. If you quit the setup program now, the features you requested to add/remove will not be installed/uninstalled. You may run the setup program at a later time to complete the operations. Are you sure you want to quit the setup?
	(まい(Y) いいえ(N)

■ ひとつ前のセットアップ・スクリーンやダイアログ・ボックスに戻るには

ダイアログ・ボックス上の [< Back] ボタンをクリックしてください。

- 次のセットアップ・スクリーンに進むには
  - 1. 選択を要求されている場合は、目的のボタン、チェック・ボックス等をクリックしま す。
  - 2. ダイアログ・ボックスの [Next >] ボタンをクリックしてください。

(2) インストーラの起動

インストーラを起動します。

ダウンロードしたアーカイブ・ファイル ads330r500\_win32.zip を使用する場合、展開先のフ オルダ下の

#### setup.exe



を実行してください。

DVD-ROMメディアを使用する場合は、ドライブにメディアを挿入すると自動的にインストーラが起動します。自動起動しない場合は、DVD-ROMのフォルダ下にある setup.exeを実行してください。

以下のような、[Welcome] ダイアログ・ボックスが現れますので、[Next >] をクリックして 先に進みます。



#### (3) ライセンス使用許諾の確認



[License Agreement] ダイアログ・ボックスが現れます。必ずよく読み、同意できる場合のみ [Yes]をクリックしてください。

このライセンス使用許諾書は ADS を起動するために必要であるライセンス(ライセンス・コードワード)とは、関係がありません。

[License Agreement] ダイアログ・ボックスは最初にインストールを行う時と、ADS のアン インストールを行った後、再びインストールする際にのみ現れます。

#### (4) ユーザ情報入力

ユーザ情報の入力を行います。

1. [Customer Information] ダイアログ・ボックスが現れます。

Advanced Design System 2008	
Customer Information Please enter your information.	
<u>U</u> ser Name:	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
edausen	
<u>C</u> ompany Name:	
Agilent Technologies Japan,Ltd.	
InstallShield —	< Back Next > Cancel

 ユーザ名と会社名を入力し [Next >] をクリックします。
 <u>ーザ登録や、ライセンス等の情報と関係はありません</u>。お好きな名前や、イニシャル等 を入力してください。

**参考** User Name、および、Company Name の情報は、後から変更することも可能です。ただし、Windows OSのレジストリ・エディタによる操作が必要となります。

(5) インストール・ディレクトリの指定

[Specify Your Installation Directory] ダイアログ・ボックスが現れます。ここでは、ファイル・ セットのインストール先を指定します。

1) インストール先のディレクトリを決定します。

Advanced Design System 2008		<b>X</b>
Specify Your Installation Di	rectory	
Setup will install Advanced D	esign System 2008 in the follow	wing folder.
To install to this folder, cl Browse and select another fol	ick Next. To install to a differ der.	rent fo ② 標準以外のディレクト! にインストールする時
Current Folder Name C:¥ADS2008¥ InstallShield	① システム標準のディル にインストールする時	クトリ Browse Next > Cancel

- システム標準のディレクトリに、ADS 2008 をインストールする時は、その まま [Next >] をクリックします。初期設定値は"C:¥ADS2008"です。
- ② それ以外のディレクトリ(既存ディレクトリ、新規ディレクトリ、ネットワーク・ドライブ)にインストールする場合は、[Browse]をクリックします。
   [Choose Folder]ダイアログ・ボックスが現れます。

なお、ADS 2008 以前のADSがインストールされている場合には、そのイン ストール・ディレクトリに ADS 2008 を**上書きインストールしないよう**にご 注意ください。 2) 標準以外のディレクトリにインストールする場合の手順は以下のようになります。

Choose Folder			
Please select	the installation folder.		
<u>P</u> ath:			② ディレクトリが表示
C:¥ADS2008			→ **** >>// あい
<u>D</u> irectories:			カすることも可能です。
۵ 💒 ۵	YSTEM (C:)		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
Þ	🔓 Intel		
Þ	🔓 Program Files		
Þ	🔓 Program Files (x86)	E	
Þ	🔓 ProgramData		
Þ	📙 ユーザー 🛛 🗕 🗕 🛶		▶ ① ディレクトリの選択
	Windowo		

- ① [Directories:] フィールドのスクロール・バーを用いて、インストールしたいディレ クトリを探し、ディレクトリ名をクリックして選択します。
- ② [Path:] フィールドに目的のパス名が現れたら、[OK] をクリックします。
   もしディレクトリが無い時は、ここにディレクトリ名をキーボードから直接入力してください。その場合ディレクトリは新しく作られます。

指定したパスがハードディスク上に存在しない時は、自動的にディレクトリが作成されます。この時確認メッセージ等はでてきませんのでご注意ください。

)   C:	¥Program Files¥ADS2008」を指定した場合の、警告メッセーシ <sup>n</sup>
•	The directory C:¥Program Files¥ADS2008¥ has a blank or a space in its name. Blanks or spaces in the in home directory name is not valid for installations of the Advanced Design System. If you want to continue with the installation,specify a different directory. Do you want to continue?
	(まい(Y) いいえ(N)

**\*注意\*** インストール・ディレクトリとして、ハードディスクのルート・ディレクトリ を設定しないでください。ADS 2008は正常に動作いたしません。 (6) ホーム・ディレクトリの指定



次に、ホーム・ディレクトリを指定するために、[Specify Your Home Directory] ダイアログ・ ボックスが現れます。ホーム・ディレクトリとは、ADS 2008 の設定データをユーザ毎に個別 に保存するためのディレクトリです。それぞれのユーザが設定したデータは、それぞれホー ム・ディレクトリ内の異なったディレクトリに保存されます

システム標準のホーム・ディレクトリとして、 "**C:¥users¥default**" が表示されています。ここでも、インストール先のディレクトリを指定した時と同じように、ホーム・ディレクトリを 指定することができます。[Browse] ボタン等の使い方については、(4)を参照してください。

peerry roar nome prrectory	
Specify the directory you wan	t to use as your home directory.
The default directory is C:¥u	users¥default.To use this directory, click Next.
To use a different directory,	click Browse.
To exit Setup, click Cancel.	
Current Folder Name	
C:¥users¥default	B <u>r</u> owse
stallShield	

#### <u>異なるバージョンのADSを使用する場合には、このホーム・ディレクトリを各バージョンごと</u> に作成してください。

(例)	C:¥users¥ads2008	ADS 2008 用
	C:¥users¥ads2006u3	ADS 2006 Update3 用

ホーム・ディレクトリをシステム標準に戻す場合や、任意のディレクトリに設定するには、 [< Back] で一つ前に戻って、もう一度手順を繰り返します。

指定したパスがハードディスク上に存在しない時は、自動的にディレクトリが作成されます。 この時確認メッセージ等はでてきませんのでご注意ください。

[Next>] をクリックすると、ハードディスクの残り容量の計算が行われ、インストールするファイル・セットの選択画面に進みます。

*注意* ホーム・ディレクトリのパスには、インストール・ディレクトリのパスと同様、日
本語やスペースが含まれないようにご注意ください。日本語やスペースが含まれている
<u>場合には、ADS 2008 は正しく動作しません。</u>
(例)「C:¥home¥ADS ユーザ」を指定した場合の、警告メッセージ
Question
The directory C:¥home¥ADS ユーザ has a blank or a space in its name. Blanks or spaces in the in home directory name is not valid for installations of the Advanced Design System. If you want to continue with the installation,specify a different directory. Do you want to continue?
(ដぃ)(Y) しいいえ(N)
[いいえ(N)] ボタンをクリックして、インストールを中止してください。
なお、インストールを中止した場合でも、上記のディレクトリは作成されますので、
Windows Explorer 等を用いて削除してください。

\*注意\* ホーム・ディレクトリに、ハードディスクのルート・ディレクトリを設定しないで ください。ADS 2008は正常に動作いたしません。

\*注意\* ホーム・ディレクトリには、ネットワーク・ドライブを指定しないことをお勧めし ます。ネットワーク・ドライブを指定した場合は、ADS 2008 の動作が極端に遅くなる 場合があります。 (7) インストール方法の選択

[Select Features] ダイアログ・ボックスで、インストール方法の選択を行います。

ここではインストール方法を二つの中から選ぶことができます。

Advanced Design System 2008	J
Select Features Select the feature you want to install.	
Please select the feature that you want to install. Complete installation of ADS Design Suites, modules, examples and documentation. Space required 4.01 GB Custom Allows you to select from the basic Advanced Design System components. ①全てのファイ	ル・ヤットをイ
レストールしま	す。 <b>(推奨)</b>
②インストールするファイル・セ ットを選択できます。	
InstallShield Cancel	

\*重要\* ネットワーク・インストール用の"LAN Client Files"ファイル・セット は、"Complete Installation"ではインストールされません。 ネットワーク・インストールを行う場合は、"Custom"でインストールを行う か、"Complete"インストールの完了後、4-7節を参考に"LAN Client Files"ファイル・ セットを追加インストールしてください。

 ① Complete installation of ADS Design Suites (完全インストール) 【推奨】 ADS 2008 の全てのファイル・セットをインストールします。(但し、LAN Client Files ファイル・セットを除く) ハードディスクの空き容量は、約 3.82GB 必要です。 インストールされるファイル・セットの種類は、(9)表4-1 を参照してください。 通常は、これを選択してください。選択後、(10)に進んでください。

## ② Custom (カスタム・インストール) インストールするファイル・セットを自由に選択することができます。 こちらを選んだ場合は、(8)のインストールファイル・セットの選択に進んでください。 インストールできるファイル・セットの種類は、(9)表4-1 を参照してください。

\*注意\* カスタム・インストールで、全てのファイル・セットを選択した場合、インストールに必要なハードディスクの空き容量は<u>約 5.12 GB</u>になります。

(8) ファイル・セットの選択 (カスタム・インストールの場合)

(7) で、**Custom** を選ぶと、[Select System Components to Install] ダイアログ・ボックス が現れます。

[File Set] フィールドに、チェック・ボックス付きのファイル・セット名がリスト表示されて いますので、この中から必要な全てのファイル・セットのチェック・ボックスをチェックしま す。(9)節で各コンポーネントの簡単な説明をします。

[Description] エリアには、[File Set] で選択(色が反転)しているファイル・セットの簡単な説 明が表示されます。

ダイアログ・ボックス下部には、インストール先ハードディスクの残り容量が表示されています。

必要なファイル・セットの選択が全て終了したら、[Next>]をクリックして次に進みます。

Advanced Design System 2008	
Select System Components to Install	
インストールしたいファイル・セット	
にチェックをつける。 nt to install by checking box	: left of item.
Mier Finished, Crick Next to continue. MADS programs and tools DesignQuides and Application Guides LAN Client Files FLEXnet Files Manuals & Help Manuals & Help	Description This component includes all of ADS tools, minus Online Documentation, Examples and Design Guides 現在選択されているファイル・
	セットの説明
52.47 GB of space available on the C drive InstallShin ハードディスクの残り容量	sk Next > Cancel

\*注意\* ファイル・セット"ADS programs and tools"がインストールされていない場合は、 ADS 2008 を起動することができません。 FLEXnet ライセンス・サーバのみをインストールする等の特別な場合以外は、このフ ァイル・セットは必ずインストールしてください。 \*注意\* オンライン・マニュアル、ヘルプ、サーチ・エンジンを含んだドキュメントは、フ ァイル・セット"Manuals & Help"としてハードディスクにインストールされます。 オンライン・マニュアルとヘルプはインストールされているコンポーネントと関連付け られています。約 674MBの空き容量が必要となります。 また、ADS 2008 はHTMLベースのドキュメントを使用しているので、表示するために ウェブ・ブラウザ(Microsoft Internet Explore version5.5以上を推奨)を必要とします。

- (9) コンポーネントの種類
  - ADS 2008 のファイル・セット (表4-1)

ファイル・セット	概要
ADS programs and tools	ADS の基本コンポーネント。ADSを起動する為に必要な、最小限
(約 1.48GB)	のファイル・セット
Design Guides and Application	デザイン・ガイド、および、アプリケーション・ガイド
Guides	
LAN Client Files	ネットワーク・インストール用の setupフォルダ
FLEXnet Files	ライセンス・サーバとして使用する為の FLEXnetライセンス管
	理ソフトウェア
Manuals & Help	ADSのオンライン・マニュアルと、検索ツールです。HTML でか
(約 674MB)	かれていますので閲覧するためには WEB ブラウザが必要になり
	ます
Examples	検索エンジンを含む、ADSのサンプル・プロジェクト
(約 1.04GB)	

枠内は Complete インストールでインストールされるコンポーネントです。

ADSのプログラムを実行する最小限のファイル・セットのみインストールする場合は、Custom インストールで "ADS programs and tools"のみを選択してください。

**"LAN Client Files"**は、ネットワーク・インストールを行うためのファイル・セットです。 現在インストール中のコンピュータをネットワーク・インストールのサーバにする場合は、こ のコンポーネントを必ず選択してください。 ネットワーク・インストールの概要については、

**4-5節「ネットワーク・インストール」** を参照してください。

#### (10) ADS 2008 を使用するユーザ範囲の指定

[Personal or Common program folder] ダイアログ・ボックスが現れます。ここでは、ADS 2008 のプログラム・フォルダとショートカット・アイコンを、インストールを実行するユーザのみ作成するか、その PC を使用するの全てのユーザに対し作成するかどうかを指定します。

#### ■ create folder and shortcuts only for current user

現在インストール作業を行っているユーザ環境のみ、ADS 2008 のプログラム・フォルダ とショートカット・アイコンを作成します。

#### ■ create folder and shortcuts for all users

等)で行う必要があります。

こちらを選択した場合、そのコンピュータ上の全てのユーザ環境について、ADS 2008 の プログラム・フォルダとショートカット・アイコンを作成します。 ただし、インストール作業をコンピュータの「管理者権限のあるユーザ」(Administrator

Personal or Common program	m folder
Do you want to create progn for only the current user of create folder and shortcu create folder and shortcu	ram folders with shortcuts on the Start menu r for all users <u>its only for current user</u> its for all users
nstallShield	< Back Next > Cance

(11) プログラム・グループの指定

[Select Program Folder] ダイアログ・ボックスが現れます。ここでは、ADS 2008 プログラ ムのショートカットが作成されるプログラム・フォルダの名前を指定します。

Advanced Design System 2008		X
Select Program Folder		4
Setup will add program shortcuts to the Prog folder name, or select one from the Existing	ram Folder listed below. You may type a ne ;Folders list	ew
Program Folder:		_
Advanced Design System 2008		
E <u>x</u> isting Folders:		
Accessories Administrative Tools Extras and Upgrades Games Maintenance Startup Tablet PC		
InstallShield	<u>▲ Next</u> Cancel	

初期設定では、**[スタート] > [すべてのプログラム] > [Advanced Design System 2008]** フォ ルダに、アプリケーションのショートカットが作成されることになります。 変更する場合は、[Program Folder:]欄に直接キーボードから入力してください。

[Existing Folders:]欄には、既存のプログラム・フォルダの一覧がリストされています。

(12) セットアップ情報の確認

[Check Setup Information] ダイアログ・ボックスが現れます。

ここでは、セットアップ情報の確認を行います。問題が無ければ、[Next >] ボタンをクリックして、インストールを開始します。

Check Setup Information	n	124
Setup has enough informa want to review or change satisfied with the setti Current Settings:	tion to begin the file-trar any of the settings, click ngs, click Next to begin co	nsfer operation. If you KBack. If you are opying files. To exit
User Information: edauser Agilent Techno Installation Directory: C:¥ADS2008¥ Program Folder: Advanced Desig Components Selected: ADS Runtime files Online Documentation	ologies Japan,Ltd. m System 2008	A III
<		Þ
allShield	< Back	Next > Cancel

#### (13) インストール作業の開始

以上が終わるとインストールが始まります。画面右下に進捗状態の表示ウィンドウが現れ、インストールの進行状態を表示します。

途中、Windows OSのコマンド・プロンプトが立ち上がる場面がありますが、これはインスト ール作業の正しい動作ですので、ウィンドウを閉じたりせず、そのままにしておいてください。

Advanced Design System 2008	現在インストール中のファイル
Validating install Cancel	等の情報
進行状況	

#### (14) ライセンス取得の注意

ここまでの作業が終わると、最後に [License Required] ボックスが現れます。

ここでは ADS 2008 を使用するためには、ライセンス・ファイルを取得する必要がある旨の メッセージが表示されています。内容を確認したら、**[OK]** をクリックしてください。

License Re	equired
<u> </u>	You will need security licenses or codewords, before you will be able to run Advanced Design System. Codewords can be requested via the Web at:
	http://eesof.tm.agilent.com/forms/codereqform.html
	or by contacting Agilent Technologies Business Center in the USA at 1-800-507-6274.
	International users please contact your local support center. You will need to provide the FLEXid or Hostid from your Sentinel hardware key.
	ОК

(15) ハードウェア・キー用ドライバ (FLEXid) のインストール

続いて、ハードウェア・キー用ドライバのインストール実行に関するダイアログ・ボックスが 表示されます。

Question	
?	Will this computer use a FLEXid dongle (hardware key) for licensing?
	(まい(Y) いいえ(N)

ADS 2008 のライセンス・コードワードをハードウェア・キー (パラレル・ポート接続(FLEXid7、 FLEXid8)、または、USBポート接続(FLEXid9)) に対して取得している場合は、[はい(Y)] を 選択してください。

[いいえ(<u>N</u>)] を選択した場合は、(16)に進んでください。 ハードウェア・キー用ドライバのインストールは、後で別途実行していただいてもかまいせん。 **4-6節「FLEXid ドライバのインストール」**をご参照ください。

<b>*重要* 64-bi</b> いただけ。 下記のダ-	t版 Windows OSでは、パラレル・ポート接続型のハードウェア・キーはご利用 ξせん。 ſアログ・ボックスが表示されますので、 <b>[はい(Y)]</b> をクリックしてください。
	Question Only FLEXID9 is currently supported on Windows X64 Would you like to continue?
	(±t)(Y) (1)()え(N)

[はい(Y)] ボタンをクリックすると、[Welcome] ダイアログ・ボックスが表示されます。



[Next>] ボタンをクリックすると、[Select Options] ダイアログ・ボックスが現れます。

FLEXId_Dongle_Driver_Installer - InstallShield Wizard
Select Options Select the options you want to install.
Setup has determined that the following drivers need to be updated on your machine. Please select the desired ones and click next.
☐ FLEXid 8 Drivers ♥ FLEXid 9 Drivers
InstallShield

使用するハードウェア・キーに対応するドライバのチェック・ボックスをチェックして、 [Next>] ボタンをクリックしてください。

FLEXid 6\_7 Drivers
 FLEXid 8 Drivers
 FLEXid 9 Drivers

緑色のパラレル・ポート接続型 黒色のパラレル・ポート接続型 緑色の USBポート接続型 [Start Copying Files] ダイアログ・ボックスが現れます。

Start Copying Files Review settings before copying	files.		
The following drivers will be i	nstalled. To mal	ke changes, please g	o BACK.
Current Settings:			
FLEXid 9 Drivers			*
			-
<			Þ
stallShield			
	Contraction of the second		Orecel

内容を確認して [Next>] ボタンをクリックすると、インストールが始まります。

進捗状況が表示され、インストールが完了すると、確認のダイアログ・ボックスが表示されます。

FLEXId_Dongle_Driver_Installer - InstallShield Wizard Setup Status	×
FLEXId Dongle_Driver_Installer is configuring your new software installation.	
InstallShield	Cancel

**[OK]** ボタンをクリックすると、下記の [InstallShield Wizard Complete] ダイアログ・ボック スが表示されます。



ここでは**必ず** 〇 No, I will restart my computer later. を選択して、[Finish] ボタンをクリックしてください。 (16) インストール作業の終了

全てのインストールが終わると、[InstallShield Wizard Complete]ダイアログ・ボックスが表示されます。[Finish] ボタンをクリックしてください。

InstallShield Wizard Complete Setup has finished installing Advanced Design System 2008 on your computer.
K Back Finish Cancel

また、ダイアログ・ボックスのメッセージが、下記のようにコンピュータの再起動を促す場合 があります。(主に Customインストールを実施した場合) この場合には、"〇 Yes, I want to restart my computer now."を選択して、 [Finish] ボタン

InstallShield Wizard Complete
The InstallShield Wizard has successfully installed Advanced Design System 2008. Before you can use the program, you must restart your computer.
• Yes, I want to restart my computer now.
⊘No, I will restart my computer later.
Remove any disks from their drives, and then click Finish to complete setup.

をクリックすると、再起動が行われます。

再起動を後で行う場合は、"No, I will restart my computer later."を選択して **[Finish]** ボタン をクリックしてください。必ず、次のセットアップに進む前に、コンピュータの再起動を行っ てください。

■ ネットワーク・サーバ/クライアント・システムを構築する場合は、
 4-5節「ネットワーク・インストール」
 に進んでください。

それ以外の場合は、

4-7節「ライセンスの確認」

に進んでください。

#### <u>4-5 ネットワーク・インストール</u>

ADS 2008 では、ネットワーク・サーバ/クライアント・システムを構築することができます。この場合の、インストール作業について説明します。

(1) ネットワーク・インストール・サーバの確認

ネットワーク・インストールのサーバ・マシンになるには、以下の二つの条件が必要となりま す。

■ ADS 2008 がインストールされていて、インストール・オプションで"LAN Client files" ファイル・セットが選択されている。

サーバ・マシンには、ADS 2008 が既にインストールされており、かつ、"LAN Client Files"ファイル・セットがインストールされている必要があります。

まだ、インストールを行っていない場合は、インストールを行ってください。

\*注意\* "Complete Installation" を行った場合、<u>"LAN Client Files" ファイル・セットはインストールされていません</u>。
 4-8節を参考にして、必ず "LAN Client Files" を追加インストールしてください。

インストール・オプションに "Custom Install"を選んだ場合は、インストールするファ イル・セットの選択画面で (4-4節(8)参照)で、上から 3 番目のオプション、"LAN Client Files"を必ず選択してください。

このファイル・セットをインストールしますと、"**<Installation Directory>¥setup**" (通 常は "C:¥ADS2008¥setup") ディレクトリに、クライアント・マシン用のインストーラ がインストールされます。

■ ADS 2008 がインストールされたサーバのディレクトリを、共有接続することが可能になっている。

ネットワーク・インストールを行うには、サーバ・マシン上で ADS 2008 のインストー ルされているディレクトリが、各クライアントから共有接続可能になっている必要があり ます。

以上の手順が終了していない場合は、クライアント側へのインストールは実行することができません。

サーバ側での、全ての手順を完了させてから、次の節に進んでください。

(2) クライアント側のインストール準備

(1) のサーバ・システムの構成が終わっていることを確認してください。そしてサーバ・マシン上の ADS 2008 がインストールされているディレクトリが、クライアントから共有可能になっていることを確認してください。

クライアント・マシンへのインストールは、サーバ・マシン上のインストーラ(setup.exe)を用 いて行われます。そのため、クライアント・マシンから、サーバ・マシンの共有ディスクへの 接続を行います。

■ Windows XP

[スタート] メニューの、[すべてのプログラム] > [アクセサリ] > [エクスプローラ] を選択して、エクスプローラを起動します。[ツール] メニューの [ネットワーク ド ライブの割り当て] を選択します。

ネットワーク ドライブの割り当て	
共有ネット ことができま らそのフォリ 接続するフ	ワークフォルダに接続して、接続にドライブ文字を割り当てる すす。ドライブ文字が割り当てられると、「マイコンピュータ」か 火にアクセスできるようになります。 ォルダと使用するドライブ文字を指定してください
ドライブ(型)	• H:
フォルダ(Q)	: ¥¥hostname¥share 🛛 参照(B)
A DESCRIPTION OF A DESC	例: ¥¥サーバー¥共有
	✓ ログオン時(ご再接続する(R) 思わるコーザータで接続します
	オンライン記憶域にサインアップするか、またはネットワークサ ーバーに接続します。
	< 戻る(B) <b>完了</b> キャンセル

Windows Vista

[スタート] メニューの、[コンピュータ] を選択して、コンピュータ・ウィンドウを 起動します。ツールバーの [>>] (他のコマンドを表示) から、[ネットワーク ドライ ブの割り当て] を選択します。

-54 کې 🚱	-クドライブの割り当て	
割り当てるネット	トワーク フォルダを選択してください。	
ドライブ(D):	H:	
フォルダ( <u>0</u> ):	¥¥hostname¥share	
	ッ: **server*share マログオン時に再接続する(B)	
	<u>異なるユーザー名</u> で接続します。 ドキュメントと画像の保存に使用する Web サイトに接続します。	
	売了(E) キャンセ	
クライアント・マシンで、サーバ・マシン上の ADS 2008 がインストールされているド ライブに接続します。

ここでは、サーバ・マシンの "C:¥ADS2008" ディレクトリ(共有名 "ADS2008")を、クラ イアント・マシンの "H:" ドライブに割り当てたとします。また、サーバ・マシンには、 "C:¥ ADS2008" ディレクトリに ADS 2008 がインストールされているとします。

クライアント・マシンで、接続したドライブの"setup"ディレクトリにある"setup.exe"を実行します。

エクスプローラを起動し、共有ドライブの"¥ setup" ディレクトリから、"setup.exe"もしくは、"setup"を起動します。



"Advanced Design System 2008 Lan Client Installation"というタイトルで、 [Welcome to the InstallShield Wizard for Advanced Design System 2008] ダイアログ・ボックスが現れます。



インストーラの操作は、ローカル・インストールと共通ですので、各ダイアログ・ボックスの 表示例については、**4-4節**をご参照ください。

[Welcome] ダイアログ・ボックスの説明を読んでから、[Next >] をクリックして、次に進みます。

(3) ライセンス使用許諾の確認

[License Agreement] ダイアログ・ボックスが現れます。(4-4節(3)参照) 必ずよく読み、同意できる場合のみ [Yes] をクリックしてください。また、このライセンス使 用許諾書は、ADSを起動するために必要であるライセンス・コードワードとは、関係がありま せん。

(4) ホーム・ディレクトリの指定

[Specify Your Home Directory] ダイアログ・ボックスが現れ、システム標準のホーム・ディ レクトリとして、"C:¥users¥default"が表示されます。(**4-4節**(6)参照) ホーム・ディレクトリとは、個々のユーザ毎の設定ファイルを保存するためのディレクトリで す。このディレクトリは、クライアント側固有の設定ですので、クライアント PCのローカル・ ディスク上に作成する事をお勧めします。

## <u>異なるバージョンのADSを使用する場合には、このホーム・ディレクトリを各バージョンごと</u> <u>に作成してください</u>。

\*重要\* Windows Vista に ADS 2008 をインストールする場合、必ずホーム・ディレクトリ 設定を初期設定 C:¥users¥default 以外のディレクトリ・パスに変更してください。 下記のような、他のディレクトリをホーム・ディレクトリとして設定してください。 □ C:¥home¥default

□ D:¥users¥default (複数のハードディスク・ドライブのパーティションを持つ場合)

\*注意\* ホーム・ディレクトリのパスには、インストール・ディレクトリのパスと同様、日本語やスペースが含まれないようにご注意ください。
 <u>日本語やスペースが含まれている</u>
 場合には、ADS 2008 は正しく動作しません。
 (例)「C:¥users¥ADS ユーザ」等

#### (5) インストール方法の選択

[Select Features] ダイアログ・ボックスが現れます。

Advanced Design System 2008 Lan Client Installation	
Select Features Select the feature you want to install.	4
Please select the feature that you want to install.	
Recommended network installation Installs main program files on your computer and runs online manuals and component libraries from the	
Maximum network installation (fewest files on your PC) Runs all program files from the network.	
InstallShield	
Cance	

ここでは、ネットワーク・インストールの方法を選択します。

ADS 2008 のネットワーク・インストールには、二通りの方法があります。

#### Recommended network installation

オンライン・マニュアル・ライブラリはサーバ上のものを使い、実行形式ファイルは、ロ ーカルのハードディスクにインストールします。実行形式ファイルがネットワーク上にあ る場合、プログラムの動作が極端に遅くなる場合がありますので、この問題を回避するた めに推奨されるインストール方法です。

#### Maximum network installation

アイコンとレジストリ・エントリの作成のみを行い、ファイル・セットは全てサーバ上の ものを使用します。ディスク容量はほとんど必要無くなりますが、シミュレータの実行速 度が極端に遅くなる場合があります。

続けて、ネットワーク・ドライブのパスの確認が行われます。

?	Are you sure you want to use files for a Lan Client configuration Advanced Design System from the following directory? h¥
---	---

クライアント・マシンで ADS 2008 を起動する時は、常にこの共有接続が確立されている必要があります。

このままでよい場合は、**[はい(Y)]**をクリックして次に進みます。

パスを変えたい時は、[いいえ(N)] をクリックして、ネットワーク・ドライブの接続からやり 直してください。 (インストーラは終了します。)

(6) インストール先の指定

**Recommended network installation** を選択した場合は、[Choose Destination Location] ダイ アログ・ボックスが現れます ファイル・セットのインストール先ディレクトリをここで指定します。初期設定値は "**C:¥ADS2008\_client**"です。

Advanced Design System 2008 Lan Client Installation	
Choose Destination Location Select folder where Setup will install files.	K
Setup will install Advanced Design System 2008 in the following folder.	
To install to this folder, click Next. To install to a different folder, cli Browse and select another folder.	ck
Current Folder Name	_
C:¥ADS2008_client	owse
InstallShield	
<u>Kack</u>	Cancel

指定方法は、4-4節(5)と同様ですので、詳細はそちらを参照してください。

(7) ファイル・セットの選択

**Recommended network installation** を選択した場合は、[Select System Components to Install] ダイアログ・ボックスが現れます。

ここでは、クライアント・マシンにコピーするファイル・セットを選択します。

Advanced Design System 2008 Lan Client Installation	1 🛛 🔀
Select System Components to Install	
Check the item(s) you want to install by checking box When finished, click Next to continue. ADS programs and tools DesignGuides and Application Guides 23.01 GB of space available on the C drive InstallShield	left of item. Description ADS tools, but NOT Online Documentation, examples and Design Guides. This feature is required for Lan Client installations
<u>Back</u>	Next > Cancel

□ ADS programs and tools

ADSのユーザ・インターフェース、スケマティックとレイアウト作成用の各種ツール、データ・ ディスプレイ、および、各種シミュレータ

□ **Design Guides and Application Guides** デザイン・ガイド、および、アプリケーション・ガイド

ハードディスク占有量は、上記最小構成で約 1.43GB、全て選択した場合は約 1.92GBです。

(8) ADS2008 を使用するユーザ範囲の指定

[Personal or Common program folder]ダイアログ・ボックスが表れます。 (**4-4節**(10) 参照)

ここでは、ADS 2008 のプログラム・フォルダとショートカット・アイコンを、インストール を実行するユーザのみ作成するか、その PC を使用するの全てのユーザに対し作成するかどう かを指定します。 (9) プログラム・フォルダの指定

[Select Program Folder] ダイアログ・ボックスが現れます。(4-4節(11)参照) ここでは、ADS 2008 プログラムのショートカットが作成されるプログラム・フォルダの名前 を指定します。

(10) セットアップ情報の確認/インストールの開始

[Check Setup Information] ダイアログ・ボックスが現れます。インストール方法・インスト ール先等が正しければ、[Next >] をクリックしてください。インストールが開始されます。

Check Setup Information	
Setup has enough information to begin the file-transfer oper want to review or change any of the settings, click Back. I satisfied with the settings, click Next to begin copying fil Current Settings:	ration. If you if you are es. To exit
Installation Directory: C:¥ADS2008_client¥ Program Folder: Advanced Design System 2008 Components Selected: ADS Runtime files Design Guides	2
Normal Andrewski	5
Standinena	Cancel

(11) ライセンス取得の注意

[License Required] ボックスが現れます。(4-4節(14)参照) ここでは ADS 2008 を使用するためには、ライセンス・ファイルを取得する必要がある旨の メッセージが表示されています。内容を確認したら、[OK] をクリックしてください。

(12) ハードウェア・キー用ドライバのインストール

続いて、ハードウェア・キー用ドライバのインストール実行に関するダイアログ・ボックスが 表示されます。(**4-4節**(15)参照)

**\*注意\*** クライアント・マシンが、ハードウェア・キーに対して取得したノードロック・ラ イセンスを使用する場合は、FLEXidドライバのインストールを行ってください。

(13) ネットワーク・インストール・セットアップの終了

インストールが完了すると、 [InstallShield Wizard Complete] ダイアログ・ボックスが表示 されます。[**Finish**] ボタンをクリックしてください。

Advanced Design System	2008 Lan Client Installation
	InstallShield ♥izard Complete Setup has finished installing Advanced Design System 2008 on your computer.
	K Back Finish Cancel

この時、ダイアログ・ボックスのメッセージが、下記のようにコンピュータの再起動を促す場合があります。この場合には再起動を行ってください。



すぐにコンピュータの再起動をするなら、そのまま [Finish] ボタンをクリックします。 再起動を後で行う場合は、 "No, I will restart my computer later."を選択して [Finish] ボ タンをクリックしてください。

以上でネットワーク・クライアントの構築が終了しました。クライアント・マシンが複数台ある場合は、 全てのコンピュータで、**4-5節**(2)~(13)までの手順を繰り返してください。

#### 4-6 FLEXid ドライバのインストール

**FLEXid ドライバ**は、ノードロック・ライセンス製品を使用したり、ライセンス・サーバとして使用 したりする場合に、ハードウェア・キー(sentinel key, dallas key, Aladdin USB key)をコンピュータ に認識させるためのドライバです。

ハードウェア・キーを接続する場合は、必ずインストールが必要です。 また、既に以前のバージョンの ADS で FLEXidドライバを導入済みである場合でも、ADS 2008 付 属ドライバのインストールを行ってください。

ADS 2008 のインストール中に FLEXid ドライバのインストール(**4-4節(15)**)を行わなかった場合は、本節の手順に従ってインストールを行ってください。

FLEXid ドライバのインストーラは、インストール用アーカイブ・ファイル ads330r500\_win32.zip、 または、DVD-ROMメディアに収録されています。

ファイル名は FLEXId\_Dongle\_Driver\_Installer.exe です。



(1) **FLEXId\_Dongle\_Driver\_Installer** を実行すると、インストーラが起動します。



[Welcome] ダイアログ・ボックスが表示されたら、 [Next>] ボタンをクリックしてください。

(2) [Select Options] ダイアログ・ボックスが表示されたら、使用するハードウェア・キーに対応 するドライバのチェック・ボックスをチェックして、[Next >] ボタンをクリックしてください。

FLEXId_Dongle_Driver_Installer - InstallShield Wizard
Select Options Select the options you want to install.
Setup has determined that the following drivers need to be updated on your machine. Please select the desired ones and click next. FLEXid 6_7 Drivers FLEXid 8 Drivers FLEXid 9 Drivers
InstallShield Cancel

□ FLEXid 6_7 Drivers	<b>パラレル・ポート接続の緑色</b> ハードウェア・キー用
□ FLEXid 8 Drivers	<b>パラレル・ポート接続の黒い</b> ハードウェア・キー用
FLEXid 9 Drivers	<b>USBポート接続</b> のハードウェア・キー用

基本的には、使用するハードウェア・キーに対応するものにチェックしていただきますが、全 てチェックを入れていただいても構いません。

(3) [Start Copying Files] ダイアログ・ボックスが表示されます。[Next >] ボタンをクリックすると、インストールが実行されます。

FLEX	(Id_Dongle_Driver_Installer - InstallShield Wizard	×
St	art Copying Files Review settings before copying files.	
	The following drivers will be installed. To make changes, please go BACM	K.
	Current Settings:	
	FLEXid 9 Drivers	*
	4	*
Instal	IShield Cance	

(4) FLEXid ドライバのインストールが完了すると、[InstallShield Wizard Complete] ダイアロ グ・ボックスが表示されます。

FLEXId_Dongle_Driver_Inst	aller - InstallShield Wizard
	InstallShield Wizard Complete The InstallShield Wizard has successfully installed FLEXId_Dongle_Driver_Installer. Before you can use the program, you must restart your computer. Yes, I want to restart my computer now. No, I will restart my computer later. Remove any disks from their drives, and then click Finish to complete setup.
	Kack Finish Cancel

通常は、コンピュータの再起動を行う為に "Yes, I want to restart my computer now." を選 択して、[Finish] ボタンをクリックしてください。 再起動を後で行う場合は、 **"No, I will restart my computer later."** を選択して **[Finish]** ボ タンをクリックしてください。



#### 4-7 ライセンスの確認

プログラムのインストール作業が終わったら、ADS 2008 **用のライセンス・コードワードの確認**を行ってください。

## □ <u>まだ ADS 2008 用のライセンス・ファイルを入手していない場合</u>

(Part1.インストール前の確認事項) 3-1節「コードワード発行依頼の方法」を参照して、ライセンス・コードワードの発行手配を行ってください。

#### □ <u>ライセンス・コードワードを収めたファイル license.lic を入手済みの場合</u>

□ **ライセンス・コードワードがノードロック(Uncounted)タイプの場合** license.licファイルをテキスト・エディタで開きます。

> INCREMENT ads\_datadisplay agileesofd 2.7 22-jul-2009 uncounted ¥ VENDOR\_STRING="9-6F7EFBE5 : P02GAZU DWSGSOQ J2HISCZ LWDGKCK ¥ ELRXYGS OMWYFKG PAKBPON XLYWS" START=22-jan-2008 SIGN="004A ¥

先頭に SERVER行、VENDOR行が無く、INCREMENT行一行目の日付(有効期限)に続く 記述が uncounted になっている場合は、Uncountedタイプのノードロック・ライセンスです。

このタイプのライセンス・コードワードの場合は、ADS 2008 インストール・ディレクトリ 下の licenses サブ・ディレクトリの下に、license.lic ファイルをコピーしてください。 例) C:¥ADS2008¥licenses

以上で設定作業は完了です。

第5章「動作確認」に進んでください。

 ライセンス・コードワードがフローティング、または、ノードロック(Counted)タイプの場合 license.licファイルをテキスト・エディタで開きます。

SERVER licserver FLEXID=9-6F7EFBE5 VENDOR agileesofd INCREMENT ads\_datadisplay agileesofd 2.7 22-jul-2009 5 ¥ VENDOR\_STRING="9-6F7EFBE5 : P02GAZU DWSGS0Q J2HISCZ LWDGKCK ¥ ELRXYGS OMWYFKG PAKBPON XLYWS" START=22-jan-2008 SIGN="004A ¥

先頭に SERVER行、VENDOR行が有り、INCREMENT行一行目の日付(有効期限)に続く 記述が数字になっている場合は、フローティング・ライセンス、もしくは、Countedタイプの ノードロック・ライセンスです。

このタイプのライセンス・コードワードの場合は、**ライセンス・サーバの設定が必要となり** ます。

Part3.ライセンスの設定)第6章「ライセンスの設定」に進んでください。

# <u>既にフローティング/ノードロック・ライセンスのライセンス・サーバが設置されており、そこからライセンスを取得する場合</u>

この場合は、**ユーザ毎**にライセンス・ファイル/サーバの所在を示す**環境変数** AGILEESOFD\_LICENSE\_FILE

の設定を変更する必要があります。

Windows OSでは、二通りの設定方法が用意されています。

 ① システムのプロパティに環境変数 AGILEESOFD\_LICENSE\_FILE を定義 コントロール パネルからシステムのプロパティを開きます。
 (Windows Vista の場合は、コンピュータの基本的な情報の表示ウィンドウで、システムの詳 細設定リンクをクリック)

[詳細設定] タブを選択し、[環境変数] ボタンをクリックすると、環境変数の設定ウィンドウが 開きます。

変数	値
TEMP	%USERPROFILE%¥AppData¥Local¥Temp
ТМР	%USERPROFILE%#AppData¥Local¥Temp
	<b>新規(N)</b> 編集(E) 削除(D
ステム環境変数(S) 変数	値
ComSpec	C:¥Windows¥system32¥cmd.exe
ER NO LIOST CUE	NO
FF_NO_ROSI_ORE	
NUMBER_OF_PROC.	4

**システム環境変数**(全ユーザ共通)、ユーザー環境変数(ログイン中のユーザのみ有効)の何 れにも AGILEESOFD\_LICENSE\_FILE の定義が無い場合は、何れかの[新規(W)...] ボタン をクリックして、設定を行います。

変数名( <u>N</u> ):	AGILEESOFD_LICENSE_FILE
変数値(⊻):	@licserver

変数名に AGILEESOFD\_LICENSE\_FILE、変数値にライセンス・ファイル名、または、ラ イセンス・サーバ名を記述して、[OK] ボタンをクリックして設定を追加してください。

複数のライセンス・サーバや、ライセンス・ファイルを参照する場合は、;(セミコロン)を区切り文字として列記します。先頭側の優先順位が高くなります。

#### 例) @licserver1; @licserver2; @licserver3

この設定は、同じコンピュータにインストールされている全てのバージョンの ADS に対して 共通に有効となります。また、レジストリの設定よりも優先されます。 2 レジストリの環境変数 AGILEESOFD\_LICENSE\_FILE 設定を変更
 Windows OSのレジストリにも、AGILEESOFD\_LICENSE\_FILEの定義があります。
 こちらは ADSのバージョン毎に個別の設定となっています。

## レジストリの設定変更は、OSの重要な機能に影響を及ぼす場合もありますので、操作は注意深 く行ってください。

レジストリ・エディタを以下の手順で起動します。

Windows XP	<b>[スタート] &gt; [ファイル名を指定して実行]</b> で regedit を入力。
Windows Vista	[スタート] をクリックし、検索バーに regedit を入力、プログラム・
	グループの <b>regedit</b> を選択。

ADS 2008 の設定は、以下のレジストリ・キーにあります。

¥HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥Agilent¥ADS¥3.30¥eeenv

P1ル(E) 編集(E) 衣示(Y) わえに入り(	A) ヘルプ(H)			
コンピュータ	名前	種類	データ	
HKEY_CLASSES_ROOT	ab)(既定)	REG_SZ	(値の設定なし)	
HKEY_CURRENT_USER	ab ADS_FOLDER	REG_SZ	Advanced Design System 2008	
HKEY_LOCAL_MACHINE	ab AGILEESOFD	REG_SZ	C:¥ADS2008¥licenses	
	ab DOCS_DIR	REG_SZ	C:¥ADS2008¥doc	
SAM	FOLDER_TYPE	REG_SZ	COMMON	
>	ab HOME	REG_SZ	C:¥Home¥Default	
	b HPEESOF_DIR	REG_SZ	C:¥ADS2008	
A - JA SOFTWARE	ab INST_TYPE	REG_SZ	execall	
<ul> <li>Aladdin Knowledge Syste</li> <li>Aladdin Knowledge Syste</li> <li>ASUS</li> <li>Classes</li> <li>Clients</li> <li>Intel</li> <li>Microsoft</li> <li>ODBC</li> <li>Policies</li> <li>RegisteredApplications</li> <li>SRS Labs</li> <li>Wow6432Node</li> <li>Apjient</li> <li>ADS</li> <li>3.30</li> <li>Geenv</li> <li>UserData</li> </ul>	A WBMLANGPATH	REG_SZ	C:¥Home¥Default¥hpeesof¥custom¥bitmaps	

AGILEESOFD\_LICENSE\_FILEの名前欄をダブル・クリックすると、編集用ウィンドウが開きます。初期設定値は **<ADS 2008 インストール・ディレクトリ>¥licenses** です。

文字列の編集		×
値の名前( <u>N</u> ):		
AGILEESOFD_LICENSE_FILE		
値のデータ(⊻):		
@licserver		
	ОК	キャンセル
	OK	キャンセル

記述方法は環境変数と同じです。変更後、[OK] ボタンをクリックしてください。

## 設定が完了したら、第5章「動作確認」に進んでください。

ライセンス関連の設定詳細については、 **Part3.ライセンスの設定** 第6章「ライセンスの設定」 をご参照ください。

#### 4-8 〔参考〕後から一部のファイル・セットをインストールする方法

最初のインストール時にインストールを行わなかったファイル・セットは、下記の手順で追加インスト ールを行うことができます。

インストール・ファイルのアーカイブ・ファイル ads330r500\_win32.zip を展開して setup.exe を実行するか、DVD-ROMメディアをドライブにセットしてください。

ADS 2008 がすでにインストールされているPCの場合、下図のような [Welcome] ダイアログ・ボックスが現れます。

Welcome Modify, repair, or remove the program.
Welcome to the Advanced Design System 2008 Setup Maintenance program. This program lets you modify the current installation. Elick one of the Modify Select new program features to add or select currently installed features to remove.
Repair Reinstall all program features installed by the previous setup.
Nemove all installed features.
< Back Next > Cancel

**Modify**を選択して [Next >] ボタンをクリックすると、インストール可能なファイル・セット一覧が 表示されますので、インストールを行いたいものをチェックし、インストールを続行します。

Advanced Design System 2008 - InstallShield Wizard	X
Select System Components to Install	
Check the item(s) you want to install by checking When finished, click Next to continue. Check to continue. Check to continue. Check the item of the tools Check to continue. Check to continue.	box left of item. Description This component includes all of ADS tools, minus Unline Documentation, Examples and Design Guides
	Back Next > Cancel

ファイル・セットと選択方法の詳細については、4-4節「インストールの実行」をご参照ください。

#### 4-9 〔参考〕アンインストールの方法

ADS 2008をハードディスク上から消去する場合は、下記の手順でアンインストールを行ってください。

アンインストーラの起動は、下記3種類の方法の何れかを選択してください。

**方法 1)** Advanced Design System 2008 プログラム・グループで、**Uninstall ADS** アイコンを選択

Windows Vista では、Uninstall ADS アイコンはインストールされません。 方法 2)、または、3)を選択してください。

- 方法 2) コントロール パネルの「プログラムの追加と削除」で Advanced Design System 2008 を 選択し、[変更と削除] ボタンをクリック (Windows XP)
   または、コントロール パネルの「プログラムと機能」で Advanced Design System 2008 を 選択し、[アンインストール] ボタンをクリック (Windows Vista)
- 方法 3) インストール・ファイルのアーカイブ・ファイル ads330r500\_win32.zip を展開して setup.exe を実行するか、DVD-ROMメディアをドライブにセット

下図のような [Welcome] ダイアログ・ボックスが現れます。

	<b>Velcome</b> Modify, re	epair, or remove the program.
	Welcome to This progr	o the Advanced Design System 2008 Setup Maintenance program. am lets you modify the current installation. Click one of the
	© <u>M</u> odify	5
	<b>B</b>	Select new program features to add or select currently installed features to remove.
	🔘 Repair	Reinstall all program features installed by the previous
	<b>Ma</b> r	setup.
	• Remove	Remove all installed features.
Ins	tallShield	
		< Back Next > Cance

**Remove**を選択して **[Next >]** をクリックすると、下図の [Confirm Uninstall] ダイアログ・ボックス が表示されます。本当にアンインストールを実行する場合は、**[OK]** ボタンをクリックしてください。

Confirm Uninstall	×
Do you want to completely remo features?	ove the selected application and all of its
	OK キャンセル

ADS 2008 のアンインストール作業には、インストール内容やコンピュータの性能にも依存しますが、 およそ一時間前後かかります。

アンインストールを行った後、インストール・ディレクトリ下には、下記のようなフォルダと幾つかの ファイルが残ります。(インストール内容により異なります)



これらのフォルダには、ユーザがカスタマイズした設定、ライブラリやライセンス・ファイル、或いはネットワーク・インストール用のファイル等が含まれています。

バックアップの必要があるものを他のフォルダ等にコピーした後は、これらのフォルダは消去していただいてかまいません。

\*注意\* もし、アンインストーラの実行時にエラーが発生して、アンインストールが完了しなかった場合は、対処方法について EDAテクニカルサポートまでお問い合わせください。 エクスプローラ等から、インストール・ディレクトリ以下をそのまま消去しただけでは、次回インストールを実行した際、正常に動作しない場合があります。 \*注意\* このインストール方法は正式サポート対象外となっております。本件に関するお問い合わせには回答できない場合もありますので、予めご了承ください。

ADS 2008 インストール・ファイルの内容を、全て大容量のハードディスク・ドライブを備えるファ イル・サーバとなるコンピュータにコピーし、そのハードディスクを共有するクライアント・コンピュ ータでインストールを実行することができます。

- (1) ファイル・サーバとなるコンピュータのハードディスクに、下記のディレクトリ ADS2008、 および、サブ・ディレクトリ dvdを作成してください。ドライブは C である必要はありません。
  - ジ デスクトップ
     マイ ドキュメント
     マイ コンピュータ
     ローカル ディスク (C:)
     ローカル アン (C:)
     ローカル (C:)
- (2) ADS 2008 インストール用のアーカイブ・ファイル ads330r500\_win32.zip、または、 DVD-ROMメディアの内容を、全て C:¥ADS2008¥dvd フォルダにコピーします。
- (3) ファイル・サーバのコンピュータで、C:¥ADS2008 ディレクトリを共有可能に設定します。



- (4) 各クライアント・コンピュータで、(3)で共有可能に設定したディレクトリをネットワーク・ ドライブとして接続し、dvd ディレクトリ下の setup.exe を実行します。
- (5) これ以降の操作は、**4-4節**からのローカル・インストールと同等です。 インストールを完了させ、ライセンスの設定を行ってください。

\*注意\* このインストール方法は正式サポート対象外となっております。本件に関するお問い合わせには回答できない場合もありますので、予めご了承ください。

**4-4節**からのローカル・インストールは、対話形式のインストーラを実行していますが、ADS 2008 はマイクロソフト社の Windows Installer (MSI) に準ずるサイレント・インストールに対応し、設定 をファイルから読み込ませることにより非対話形式でインストールを行うことが可能です。 サイレント・インストールを行う場合は、**4-10節「ファイル・サーバからのインストール**」を併 用してください。

サイレント・インストールを実行するには、予め設定情報を記述したレスポンス・ファイル (InstallShiled silent response file)を用意する必要があります。

ファイル・サーバ・コンピュータの共有ハードディスクにコピーされた ADS 2008インストール・フ ァイルのディレクトリ (¥ADS2008¥dvd)に、拡張子.iss のレスポンス・ファイルを置いて、setup.exe でインストーラを起動します。

ADS 2008 の PC Program Setup Disk 1 の silent ディレクトリ下に、レスポンス・ファイルのサン プルが収録されています。

- ・ complete.iss Complete Installation の実行用
- uninst.iss
   アンインストール (silent uninstall)の実行用
- ・ lanclientrec.iss Recommended network installation の実行用

\*注意\* complete.iss を使用した場合、"LAN Client Files"ファイル・セットはインスト ールされません。ネットワーク・インストールのサーバとして設定する場合は、4-8 節を参考に追加インストールしてください。

これらのサンプル・ファイルには、下記の設定が行われていますので、実際のインストール環境に合わせて変更を加えてください。

- ・ インストール・ディレクトリは C:¥ADS2008
- ・ ホーム・ディレクトリは C:¥users¥default
- ・ スタートメニューにプログラム・グループ Advanced Design System 2008 作成

サイレント・インストールは下記の手順で実行します。既に、クライアントはファイル・サーバ上の dvd ディレクトリを参照できるものとします。

(1) オプション /s 、および、レスポンス・ファイルとログ・ファイルを指定するオプション /f1、
 /f2 を付けて、setup.exe を実行します。
 <実行例> cd D:¥ADS2008¥dvd
 setup.exe /s /f1"D:¥ADS2008¥dvd¥silent¥complete.iss"
 /f2"C:¥temp¥complete.log"

\*注意\* /f1、/f2 オプションと各引数の間には、空白を入れないでください。また、ファイル・パスは、""で括ってください。

- (2) インストールの経過を確認する場合は、実行開始から 3分~ 5分待ってください。
   その後、ADS 2008のインストール先ディレクトリに移動して、インストールされた tail コマンドを用いて、コマンド・プロンプトにログ・ファイルの内容を表示させます。
   <実行例> cd C:¥ADS2008¥tools¥lib¥dpkg
  - ..¥..¥bin¥tail –f adsinstalllog.txt

インストール完了時には、下記のメッセージが表示されます。 End of silent installation

サイレント・インストールがうまく動かない場合は、まず、通常の対話形式インストールを行い、問題 が発生しないことを確認してください。

## 5章 動作確認

#### <u>5-1 ADS 2008 を初めて起動する際の注意事項</u>

最初に、ユーザが初めて ADS 2008 を起動する場合に、三つの注意すべき項目・設定を記します。

#### (1) ユーザ環境設定の確認

ADS 2008 を起動する前に、ユーザの設定が完了しているかどうかを確認します。

通常、Windows版 ADS 2008 はインストール後、特にユーザ環境の設定を行わずとも、ご利用いただくことができます。

ただし、**ライセンスの提供形態**により、ライセンス関連の設定変更が必要となる場合もあります。 例えば、フローティング・ライセンスをご利用の場合は、ライセンス・サーバの情報が環境変数 AGILEESOFD\_LICENSE\_FILE に反映されていることが必要です。 設定されていない場合は、4-7節をご覧になり、設定を行ってください。

## (2) ライセンス・バンドルの選択

お持ちのライセンスがパッケージ形式(**ライセンス・バンドル**)の方は、License Preference Tool から使用するライセンスを選択する必要があります。

\*注意\* License Preference Tool による設定は、<u>ライセンス・バンドル形式のライセンスをご</u> <u>利用になっている方のみに必要な作業です</u>。 それ以外の通常のライセンスをご利用になっている場合は、**5-2節**にお進みください。 ご所有の ADS 製品のライセンス形態が不明な場合は、弊社営業担当等にご確認ください。

ライセンス・ファイルでは、先頭が **ltp\_ 、pl\_、pb\_、**および、**b\_** で始まるライセンス・コードワードが、バンドル・ライセンスに該当します。

例)ltp\_intdesrfde\_combo\_gg、pl\_design\_lib、 pb\_si\_designer\_3、b\_mdl\_wireless\_network

ads\_、mdl\_、sim\_、trans\_等で始まる名称のライセンス・コードワードは、ライセンス・ バンドルではありません。

ADS 2002C 以前のバージョンで使用されていたライセンス・パッケージは、ADS 2003A から**ラ** イセンス・バンドルに変更されました。

ライセンス・バンドルからライセンスを取得する場合は、必ず License Preference Tool で作業を 行う必要がありますので、ご注意ください。License Preference Tool で使用するライセンス・バ ンドルを選択した後、ADS を起動してください。

\*注意\* License Preference Tool で選択したライセンス・バンドルの情報は、各ユーザ毎に保存されます。 次回 ADS 起動時、使用するライセンス・バンドルを変更する必要が無い場合は、License

<u>Preference Tool を起動する必要はありません。</u>

〔1〕 License Preference Tool の起動

License Preference Tool を起動するには、以下の二つの方法があります。

■ License Preference Tool

[スタート] メニューから、 [すべてのプログラム] > [Advanced Design System 2008] > [ADS Tools] > [License Preference Tool] を選択することで、License Preference Tool が起動します。

■ ADS 起動用ショートカット

ADS の起動用ショートカットを編集することで、License Preference Tool を起動すること ができます。

\*注意\* この設定を行うと、ADS を起動する度に License Preference Tool が起動しま す。

1. 起動用ショートカットのプロパティを開く

デスクトップ・アイコンから起動する場合は、ADS 起動用デスクトップ・アイコンのプ ロパティを開きます。デスクトップの ADS 起動用のアイコン上で、マウス・ボタンを右 クリックし、プロパティを選ぶと開くことができます。

Advanced Design System プログラム・グループから起動する場合は、まずタスクバー上 でマウス・ボタンを右クリックし、プロパティを選択します。詳細タブを選択すると、詳 細ボタンがありますので、これをクリックします。エクスプローラのスタートメニューの フォルダが開きますので、ここから [すべてのプログラム] > [Advanced Design System] プログラム・グループを開き、Advanced Design System 起動用ショートカット上で、マ ウスの右ボタンをクリックし、プロパティを選択します。

2. リンク先を変更する

ショートカットのプロパティ・ウィンドウに、[リンク先] フィールドがありますので、こ こに "--p"を加えます。例えば、ADS のインストール・ディレクトリが "C:¥ADS2008" の場合、[リンク先] フィールドには "C:¥ADS2008¥bin¥ads.exe" とありますので、これ を、

 $C{:}{\tt \baselines} ADS2008{\tt \baselines} bin{\tt \baselines} ads.exe-p$ 

と編集し、[OK] ボタンをクリックします。

#### [2] ライセンス・バンドルの選択

License Preference Tool の表示例を示します。

Agilent License Preference @edats003			- <b>O</b> X
Available License Bundles		Selected License Bundles	
License Bundles / Features /		License Bundles / Features /	
i≟-b_comms_verification i∓-b_iccap dev extraction		····No license bundles selected	
-b_iccap_measurement -b_md_cellular	<u>A</u> dd >>		
-b_mdl_mature -b_mdl_wireless_integrated -b_mdl_wireless_network -b_sipmodule_designer -b_sipmodule_designer_pro -b_sipmodule_designer_pro -ltp_iccap -ltp_intdesrfde_combo -ltp_intdesrfde_combo_gg -pb_si_designer_3 -rfde_invironment	<< <u>R</u> emove		
<u> </u>	Cancel	**	Help

1. [Available License Bundles] に利用可能なライセンス・バンドル一覧が表示されます。 バンドル名の左側の+マークをクリックすると、バンドルに含まれるライセンス一覧が表示されますので、使用したいライセンス・バンドルを探します。

cense Bundles / Features /	<b>_</b>		License Bundles / Features /	
Itp_intdesrfde_combo_gg			····· No license bundles selected	
ads_datadisplay			1	
ads_encoder		<u>A</u> dd >>		
ads_layout	-			
-ads_schematic			1	
-ads_si_verification		<< <u>R</u> emove		
dg_commsys	-		-	
dg_filter				
dg_linear				
dg_mixer				
dg_multi_carrier				
dg_oscillator				
dg_passives				
de_pII				
dg_pwr_amp				
link_connect_mgr				
link_measampmodeling	-			

- [Available License Bundles] から、使用したいライセンス・バンドルを選択し、[Add >>] ボタンをクリックすると、選択したライセンス・バンドルが [Selected License Bundles] 欄に移動します。
  - □ **ltp\_、pl\_、pb\_** の各ライセンス・バンドルは、何れか一つしか選択することがで きません。
  - □ ただし、ltp\_design\_guide は他の ltp\_ バンドルと、pl\_design\_guide は他の pl\_ バンドルと同時に選択することができます。
  - □ **b**\_ ライセンス・バンドルは、他のライセンス・バンドルと同時に選択すること ができます。

Agilent License Preference @edats003	
Available License Bundles License Bundles / Features / D-b_comms_verification D-b_iccap_dev_extraction D-b_iccap_measurement D-b_mdl_cellular D-b_mdl_wireless_integrated D-b_mdl_wireless_integrated D-b_sipmodule_designer D-b_sipmodule_designer_pro D-b_sipmodule_designer_pro D-ltp_iccap D-ltp_i	Selected License Bundles
	<u>C</u> ancel <u>H</u> elp

- 3. ライセンス・バンドル設定を解除、または、変更したい場合は、[Selected License Bundles] 欄からライセンス・バンドルを選択して、[<< Remove] ボタンをクリックします。
- 4. 選択が完了したら、[OK] ボタンをクリックして終了します。

 参考 ここで設定した License Preference 情報は以下のファイルに保存されており、以後 はLicense Preference Tool を起動しなくても、そのライセンス・バンドルを使用します。
 ファイル: <home directory>¥hpeesof¥config¥hpeesof.cfg 環境変数: AGILEESOFD\_LICPREF\_<ホスト名>=<ライセンス・バンドル>

## (3) Windows OS のファイアウォール設定

**Microsoft Windows XP Professional SP2** 以降の **Windows OS** ではファイアウォール機能 が強化され、外部との通信を行うプログラムの動作に対して、厳しくチェックが行われるよ うになっています。

ADS 2008 を構成するプログラムの一つ、hpeesofemx.exe は、リモート・シミュレーション 機能の実行等を行う為、ネットワークへの接続を試みます。これに対し、Windowsファイア ウォールが下記のようなセキュリティに関する警告ダイアログ・ボックスを表示します。

Windo	ows セキュリティの重要な	警告
٢	このプログラムの機能 ます	iのいくつかが Windows ファイアウォールでブロックされてい
このプログ のブロック りを解除	ラムで受信ネットワーク接続を を解除すると、接続しているす。 するととのような危険性がありま	受信しないよう、Windows ファイアウォールでブロックされています。このプログラム べての ブライベート のネットワーク上でブロックが解释除されます。プロクラムのプロッ すか?
	名前( <u>N</u> ):	hpeesofemx
	発行元(P):	不明
	パス( <u>H</u> ):	C:¥ads2008¥bin¥hpeesofemx.exe
	ネットワークの場所(し):	プライベート ネットワーク
		ネットワークの場所とは何ですか?
		ブロックする(ビ) (アロックを解除する(山)

このダイアログ・ボックスでは、[ブロックを解除する] ボタンをクリックしてください。

hpeesofemx がブロックされると、リモート・シミュレーション機能等が正常に動作しなくなる恐 れがあります。

ブロック解除の手動設定、および、削除等の操作は、**[スタート]** メニューから、**[すべてのプロ グラム] > [コントロール パネル] > [Windows ファイアウォール]** で Windowsファイアウォール のダイアログ・ボックスを開き、**[例外]** タブで行うことができます。

白板 1992日 日本市	調査				
例外を使用して、W アウォール経由の通 Windows ファイアウォ プログラムのブロックを 例外を有なh(こする(こ	indows ファイアウォ 信を許可するには、 サールには、現在 プ 論評除するとどのよう は チェック ボックス	ール経由でブロ/ ブログラムまたは ライベート ネット な危険性があり	ブラムが通信する方 ポートの例外を追加 ワークの場所の設筑 <u>ますか?</u> (い(エ):	法を制御します。 むしてください。 目が使用されている	ファイ とす。
プログラムまたはポ・			***		
□ BITS ピア キャ	ッシュ				-
✓ hpeesofemx					Ξ
□ iSCSI サービス					
SNMP Trap					
Symantec Ant	tivirus				
Symantec Em	ail				
🗌 Windows Man	agement Instrume	entation (WMI)			
Windows Med	ia Player				
Windows Med	ia Player ネットワー	ーク共有サービス			
□ Windows グル・	ープ作業ツール コン	ピュータ名の登録	录サービス		
□ Windows ピア	ツー ピア共同作業	ファンデーション			-
	ማት በ በተ. ኬ	HE IN		0.000	10255
プログラムの追加	(B) ) (ポートの	)追加(0)	プロパティ(I)	肖明余( <u>D</u> )	
Windows 7747	7ウォールによる新し	いプログラムのブ	ロック時に通知を受	(†取る(B)	
	- 1 CL - C			57 TA 9/3 W/	

## <u>5-2 アプリケーションの起動</u>

ADS 2008 を起動します。

**[スタート]** メニューから、 **[すべてのプログラム] > [Advanced Design System 2008]** を選択してい くと、ADS 2008 プログラム・グループが作成されています。



目的のメニューを選択してマウスをクリックすると、それぞれのプログラムが起動します。

メニュー中の"Advanced Design System"が、通常の ADS 2008 (32-bit版) の起動ショートカットと なります。

\*注意\* メニューの中に "RF Designer" がありますが、これは Designer 製品(Lite版)専用</u>の起動 ショートカットです。Designer を起動する場合は、専用のライセンス・コードワードが必要で すので、コードワードをお確かめの上、ご使用下さい。 Designer 製品の場合は、ライセンス・コードワードの名称末尾に "\_lite" という文字がついてい ます。(例: ads\_schematic\_lite 等)

**\*注意\*** Advanced Design System (64-bit Simulations) 等の 64-bit版プログラムのメニュー・ア イコンは、64-bit 版 OSにインストールされた場合にのみ、表示されます。 ADS 2008 プログラム・グループには以下のショートカット/フォルダが作成されています。

ADS Tools ADS Documentation Advanced Design System Advanced Design System (64-bit Simulations)

## ADS Tools

ADS 付属のツール、ユーティリティ・プログラムのショートカットが登録されています。 ただし、インストール時にこれらを選択していなかった場合は、作成されていません。

📰 Digital Filter Designer

- 🔁 Library Translator
- License Information Tool
- License Preference Tool
- 🔚 LineCalc
- 🔊 Ptolemy Modelbuilder Shell
- Ptolemy Modelbuilder Shell (64-bit)
- SPICE Model Generator

## ADS Documentation

オンライン・マニュアルを開きます。

## Advanced Design System

32-bit 版 ADS 2008 の起動ショートカットです。

- 32-bit版 Windows XP / Vista で ADS 2008 をご利用の場合は、このアイコンで ADS を起動してください。
- 64-bit版 Windows XP / Vista で ADS 2008 をご利用の場合は、このアイコンにより 32-bit モードで ADS 2008 を起動することができます。
- Advanced Design System (64-bit Simulations)

64-bit 版 ADS 2008 の起動ショートカットです。

 64-bit版 Windows XP / Vista で ADS 2008 をご利用の場合は、このアイコンにより 64-bit モードで ADS 2008 を起動することができます。



RF Designer の起動ショートカットです。RF Designer製品(Lite版)を起動する時に使用し ます。詳しくは、Advanced Design System の User's Guide をお読みください。

# Uninstall ADS

アンインストーラを起動します。ADS 2008 をコンピュータから削除する時に使用します。 アンインストールの手順については、4-9節「〔参考〕アンインストールの方法」をご 参照ください。

Windows Vista では、プログラム・グループに Uninstall ADS アイコンは登録されません。

#### 5-3 サンプル・ファイルによる動作確認

次にサンプル・ファイルを使って、ADS 2008 が正しくインストールされたかどうかを確認します。 インストール時にサンプル・ファイルのインストールを行わなかった場合は、ここでの手順(2)以降は 進められません。また、お持ちのライセンスの種類によって、ウィンドウが開かない、シミュレーシ ョンを実行できない等の制約がある場合がありますので、ご注意下さい。

以下の事例は、Windows Vista上で ADS 2008 (64-bit版) を用いて、マイクロ・ストリップライン・フ ィルタのサンプル・プロジェクト mw\_filter\_prj をオープンし、 Sパラメータ特性シミュレーション を行う操作を示します。

(1) ADS 2008 の起動

[スタート] > [すべてのプログラム] > [Advanced Design System 2006A] > [Advanced Design System (64-bit Simulations)] を選択して、アプリケーションを起動します。 最初に ADS 2008 のバージョン等が表示されたタイトル・バナーが表示されます。



このバナーの表示前、或いは、表示後にエラー・メッセージのダイアログ・ボックスが表示されて ADS が起動できない場合は、

## **5-4節「ADS 2008 が起動しない時」** をご参照ください。

初めて ADS 2008 を起動した場合は、下記の [Advanced Design System Setup]ダイアログ・ ボックスが表示されます。

Design Type	Supported	
🖱 Analog/Rh 🖱 Digital Sig	- Uniy mal Processin	e Onlu
<ul> <li>Both, With</li> </ul>	Default :	e Only
Analog/R	(FDesign	
🔵 DSP Desi	ien	

ADS 2008 を使用する時の環境を定義するウィンドウです。

- □ Analog/RF Only
- $\Box$  Digital Signal Processing Only
- $\Box$  Both, With Default:

□ Analog RF/Design□ DSP Design

アナログ/RF回路設計用機能のみ使用可 デジタル信号処理回路設計用機能のみ使用可 上記両方の設計用機能を使用、 初期設定を下記から選択 アナログ/RF回路設計優先 デジタル信号処理回路設計優先

ここでは、[Both With Default:] を選択し、[Analog/RF Design] を選択します。

この設定は ADS 起動後に変更することができます。

[Start] ボタンをクリックすると、ADSのメイン・ウィンドウが表示されます。

Ele View Tools   View View   File Browser    © Default     1	Advanced Design System 2008 (Main)
Image: Project View   File Browser   Image: Imag	<u>Eile Vi</u> ew <u>T</u> ools <u>Wi</u> ndow Design <u>K</u> it DesignGuide <u>H</u> elp
File Stowser         Image: Constraint of the store of the storeo	
File Browser	File View Project View
	File Browser
t ▶	A 🕞 Default
▷h hpeesot ▷ untitled_prj	
	▶ chpeesot
	vntted_prj
Double click to open	Double click to open
Use the File menu or the File Browser to open a project	Use the File menu or the File Browser to open a project

メイン・ウィンドウの表示と同時に下図のような [Getting Started with ADS]ダイアログ・ボックスが表示されます。

下記機能のリンクをクリックするか、[Close]ボタンをクリックして、閉じてください。



#### Projects

□ Create a new project	新規プロジェクト作成
$\Box$ Open an existing project	既存プロジェクトのオープン
$\Box$ Open an example project	サンプル・プロジェクトのオープン
$\Box$ Open a recently used project	最近参照したプロジェクトのオープン
Help Center	
$\Box$ ADS Quick Start	英語版クイック・スタート・マニュアル表示
$\Box$ Agilent EEsof Web	Agilent EEsof ウェブ・ページ表示
$\Box$ Application	アプリケーション紹介ウェブ・ページ表示
$\Box$ Customer newsletter archive	お客様向けニューズ・レター・アーカイブ表示
$\Box$ Knowledge Center	Agilent EEsof ナレッジセンタ表示
$\Box$ Manuals	オンライン・マニュアル表示
$\Box$ Technical support	テクニカルサポート ウェブ・ページ表示
$\Box$ Technical support contacts	テクニカルサポートご連絡先一覧
$\Box$ Vendor libraries for ADS	ベンダー・ライブラリ提供元一覧
$\Box$ Videos	ビデオ・チュートリアル一覧
□ Web-based training	ウェブ・ベースのトレーニング一覧
$\Box$ What's New	What's New ウェブ・ページ表示

次回起動時にこのダイアログ・ボックスを表示しないようにする場合は、[Don't display this dialog box automatically] のチェック・ボックスをチェックしてください。

(2) サンプル・プロジェクトの読み込み

既にインストールされているサンプル・ファイルを読み込みます。

メイン・ウィンドウの **File > Copy Project** メニューで、Copy Project ダイアログ・ボックス を開きます。

From Project:	C:¥ADS2008¥examples¥	Browse	Working Directory Startup Directory Example Dir	ector
To Project:	C:¥Home¥Default¥	Browse	Working Directory Startup Directory	_
🗸 Copy Proje	ct Hierarchy		👽 Open Project After Copy	

[Example Directory] ボタンをクリックすると、From Project 欄に ADS 付属のサンプル・ プロジェクトが格納されたディレクトリが表示されます。

[Browse...]ボタンをクリックすると、ファイル・ブラウザが開き、サンプル・ディレクトリの内 容が表示されます。

My Computer	1xEV	Instruments	📙 Tutorial	
edauser	瀇 Antennas-Prop	LTE	UWB	
W COUDER	BehavioralModels	Momentum	🗼 Verilog-A	
	CDMA	MW_Ckts	Verilog-AMS	
	CDMA2K	PtolemyDocEyamples	WCDMA3G	
	Com_Sys	RF_Board	WLAN	
	Connected_Solutions	RF_SIP	WLAN_11N	
	DesignKit	RFIC	WMAN	
	DSP	SDFHdlCosim	WMAN_M	
	DTV	SignalIntegrity		
	EDGE	SystemC_Cosim		
	GSM	TDSCDMA		
	HSDPA	Timed		
	I HSUPA	Training		
Directory: MW Ckts				Choose

カテゴリー毎にサブ・ディレクトリに分けられていますので、**MW\_Ckts** をマウスでダブル・ クリックして、下の階層を表示させてください。

Wy Con	nputer AmodelB_prj Design_Manufacturing_MMIC_prj drc_via_prj LtrageSigAmp_prj LtA_1CHL2_prj MMIC_Amp_Prj MMIC_Amp_Prj MMIC_AmpEM_Sims_prj MMIC_AmpEM_Sims_prj MMIC_AmpEM_Sims_prj MMIC_Market_cos_prj TestLabCorTwostgAmp_prj	

プロジェクト **mw\_filter\_prj** をマウスで選択して、[Choose] ボタンをクリックしてください。

Copy Project ダイアログ・ボックスの From Project欄に、プロジェクト **mw\_filter\_prj** が入 力されます。

From Project:	amples¥MW_Ckts¥mw_filter_prj¥	Browse	Working Directory Startup Directory Example Direct
To Project:	C:¥Home¥Default¥	Browse	Working Directory Startup Directory
🖉 Conv Proje	ct Hierarchy		Open Project After Conv

[OK] ボタンをクリックすると、プロジェクト **mw\_filter\_prj** が To Project 欄に示されたホ ーム・ディレクトリ (C:¥Home¥Default) 下にコピーされ、コピー後に自動的にオープンさ れます。

サンプル・プロジェクト mw\_filter\_prjを開くと、下記のようなウィンドウが開きます。



#### ○ スケマティック(回路図)・ウィンドウ

解析対象の回路、信号源、シミュレーション設定等のコンポーネントが配置されています。

○ レイアウト・ウィンドウ



マイクロ・ストリップライン・フィルタの物理形状を示しています。 左側の Layersウィンドウでは、レイアウトのレイヤー情報と、設定変更を行うことがで きます。

\*注意\* この時、お持ちのライセンスの種類によっては、ライセンス・エラーが発生す る場合があります。(レイアウト機能の使用には ads\_layout ライセンスが必要)
(3) シミュレーションを実行してみます。

スケマティック・ウィンドウで、Simulate > Simulate メニュー、或いは、ツール・バーの [Simulate]ボタンを選択すると、シミュレーションが実行されます。

\*注意\* この時、お持ちのライセンスの種類によっては、ライセンス・エラーが発生する場合があります。(S-Parameter解析の実行には sim\_linear ライセンスが必要)

下記のウィンドウが表示されます。

## ○ステータス・ウィンドウ

-ile	Simulation/Synthesis Text Window	
Simul	ation / Synthesis Messages	
 Statu	e / Summanu	
- and		
hpe Cop	eesofsim (*) 2008.500 Jan 22 2008 (64-bit b oyright Agilent Technologies, 1989-2008.	
SP	SP1[1] <c:\home\default\mw_filter_prj\netw< td=""><td></td></c:\home\default\mw_filter_prj\netw<>	
Res	ource usage:	
	Iotal stopwatch time: 2.06 Seconds.	
Sin	ulation finished: dataset `spar sim' writt.	
1.1	C:\Home\Default\mw filter prj/data'	

シミュレーションの進行状況、エラー情報等を表示します。

spar_sim [page 1]:0			
Ele Edit View Insert	Marker History Options Jools Bage Window Help		
00000	📋 🔁 🕂 🖾 🌣 🏷 🖉 🔶 🖾		
spar.sim			
C 12 8 20			
	V Z JA JA V		
N IIII	TWO SECTION MICROSTRP FILTER		
R 1	•	m1 m2	sta=1.270G
٠	2 20	freq=11.41GHz dep D dB(S(2,1))=-2.945 Deita	elta=348.8m Mode ON
		0.0	
		.10-	
		§ .1.5-	<u>\</u>
<b>1</b>		-20- -26- m1	m2
		-2.0-	<b>1</b>
	10	40	
A	9.0 9.5 10.0 10.5 11.0 11.5 12.0 12.5 13.0 13.5 14.0 14.5 15.0 tree, CHz		000000000000000000000000000000000000000
		treg, Gi	42
	Filter Bandwidth Calculation		
	Select NdB bandwidth		If Reaso has combars are set the
	Bandwidth 1987.0		same, then there are trequencies between "LowestFreq" and
	andwidth-bandwidth_func(X,N_dB)		Trighestriner where X is not greater than the SearchValue.
	Band edge frequency calculation using find_index():	Calculation using find():	actually narrower than what is calculated here. You will see
	Search/Value-mar(X).N_dB	indices=find(X+Search//alue)	nachdise0.nirChdise0
	an LowerFreqRefreqLowerFreqIndex]	LowestFreq=freq(min(indices))	128.000
	one_above_limit+if(X > Search/Value ) then 1 else 0	FighestFreq-treg(nax(indices))	128.000
	NumberPoints=sum(one_above_limit)	Lowestfreq Highestfreq Ba	n davi 481
	UpperFreqIndex+LowerFreqIndex+(NumberPoints-1)	11.41 0 12.69 0	1200.0
	UpperFreqFt=freq[UpperFreqhdex]		
	LowerFreqPt UpperFreqPt 11.41 G 12.69 G		
	100		,

○データ・ディスプレイ・ウィンドウ

シミュレーション結果を、図表で示します。

参考 シミュレーションの実行時にメモリ不足エラーが出た場合は、仮想メモリを増やす必要があります。本ソフトウェアでは仮想メモリは最低 300MByte/推奨 512MByte以上となっています。

(4) 動作確認の終了

データ・ディスプレイの表示まで、正常に行うことができれば、ADS 2008の基本動作については問題ありません。

メイン・ウィンドウで **File > Exit Advanced Design System** を選択して ADS 2008 を終了 します。

## <u>5-4 ADS 2008 が起動しない時</u>

ADS 2008 が起動しない時の対処方法を説明します。

ADS 2008 が起動しない場合の原因の殆どは、ライセンスのセットアップの誤りです。まず、ライセンスが正しく取得できているかをお確かめ下さい。 ライセンスの確認方法を含めた対処方法を以下に示します。

イモンへの確認力伝を音のた対処力伝を以下にかします。

≪代表的なエラー表示ダイアログ・ボックスの例≫



先頭部分に **Cannot find license file** = **"ライセンス・ファイルが見付からない"** というエラー内 容が記載されています。

また、最下段の FLEXnet Licensing error: -1, 359. System Error: 2 No such file or directory に は、**詳細なエラー内容**と、そのエラー・コードが表示されていますので、原因究明の手掛かりに なります。

(1) 環境変数は正しく設定されていますか?

環境変数 "AGILEESOFD\_LICENSE\_FILE" は正しく設定されているでしょうか?

"AGILEESOFD\_LICENSE\_FILE"は、デフォルトでは Windows OS のレジストリに設定 されており、ADS インストール・ディレクトリ下の licenses フォルダにライセンス・ファイ ル (license.lic ファイル) が存在する前提になっています。別の場所にライセンス・ファイル を置いたり、ネットワーク上のライセンス・サーバを参照させたりする場合は、設定の編集が 必要になります。

**"AGILEESOFD\_LICENSE\_FILE"**で設定された場所に license.lic ファイルが存在するか、 或いは、指定されたライセンス・サーバとの通信が可能であるかどうかを、もう一度ご確認下 さい。

また、コントロール パネルのシステムのプロパティで、環境変数として "AGILEESOFD\_LICENSE\_FILE"を設定されている場合は、その設定が旧バージョンのラ イセンス・ファイル等を参照していないかどうか注意してください。この方式では同じコンピ ュータにインストールされた全てのバージョンの ADS に対し、この設定が共通に適用されま す。

複数のログイン・アカウントで ADS をご利用いただく場合、環境変数は「ユーザー環境変数」 ではなく、「システム環境変数」の欄に設定することを推奨いたします。

環境変数の詳細については、4-7節をご覧下さい。

- (2) ライセンス・ファイルは正しく設定されていますか?
  - (i) "license.lic"ファイル中の SERVER 行は正しいですか?(フローティング・ライセン スの場合)
    ホスト名、HOST ID をもう一度ご確認ください。
  - (ii) "license.lic"ファイル中の VENDOR 行は正しいですか?(フローティング・ライセン スの場合)
    サーバ・マシン上の正しいベンダ・デーモンのパスを入力してください。
  - (iii) ライセンス・ファイルは正しいディレクトリに置かれているでしょうか?
    環境変数 "AGILEESOFD\_LICENSE\_FILE" の内容と、実際に license.lic ファイルが置かれている場所を確認してください。
  - (iv) 正式なライセンス・ファイル以外のテキスト・ファイルが置かれていないでしょうか? 例えば、古いライセンス・ファイル(license.dat)等がライセンス設置フォルダにあると、 ADS 2008 はそれらのファイルの内容も参照し、ライセンス取得に失敗する場合があ ります。
     ライセンスフォルダ(%HPEESOF\_DIR%¥licenses)には、現在有効なライセンス・フ ァイル以外のファイルは、バックアップ用も含めて置かないようにお願いいたします。
- (3) ハードウェア・キーは正しく接続されていますか?

ハードウェア・キーを使用する場合、FLEXid ドライバがインストールされていることもご確認ください。

(4) ライセンス・バンドルの選択は適切ですか?

License Preference Tool でライセンス・バンドルの選択状態を確認してください。

ライセンス・バンドルが無い環境で、ライセンス・バンドルの選択設定が行われている場合も、 ライセンス・エラーの原因となります。

(5) サーバ・マシンでライセンス・デーモンは動作していますか?(ライセンス・サーバでの設定)

PC 一台だけでノードロック・ライセンスを使用している場合は、ライセンス・デーモンを起動する必要はありません。フローティング・ライセンス及び、ノードロックのライセンスを他のコンピュータから供給している場合は、この項目をお確かめ下さい。

ライセンス関連の設定詳細については、

## (Part3.ライセンスの設定)第6章「ライセンスの設定」

をご参照ください。

(6) コンピュータの時間は正確に合っていますか?

**コンピュータの時刻が正確ではない**と ADS 2008 が起動しない場合があります。コンピュー タの時刻を正しく設定してください。

[スタート] メニューから [コントロール パネル] を開き、[日付と時刻] のアイコンをダブル・ クリックすると調べることができます。

以上の項目を調べても原因が分からない時は、EDAテクニカルサポートまでご連絡下さい。

原因を特定するために、予めソフトウェアのバージョン、OS のバージョン、エラー・メッセージ、発 生条件と頻度等の情報を整理して、正しくお伝え下さい。

また、デバッグ情報のログ・ファイル作成をお願いする場合もございますので、

(Part4.その他の設定、トラブルシュート) 7-8節「デバッグ・モードでの起動」 にも目を通しておいてください。

ご質問の際にFAXを使われる場合には、 Part1(インストール前の確認事項 に付属している「EDAテ クニカルサポート サポート依頼 FAX 用紙」をご利用ください。